

2025年3月期 決算説明会

2025年5月9日

太陽誘電株式会社
経営企画本部長
福田 智光

2025年3月期 連結業績概要

- 売上高は前期比6%増収。民生機器、情報機器、自動車、情報インフラ・産業機器と幅広い用途分野で増加。製品別では、コンデンサとインダクタが増収。
- 操業度効果と円安による為替影響で、営業利益は同15%増益。
- インダクタの需要が想定以上だったことにより、売上高、営業利益とも2月時点の想定を上回った。

2026年3月期 連結業績予想

- 売上高は3,400億円(前期比微減)、営業利益は160億円(同53%増)を計画。
- 配当金は、前期と同額の1株当たり90円を予定。株主還元の指標として、新たに株主資本配当率(DOE)を追加。

2025年3月期 連結業績概要

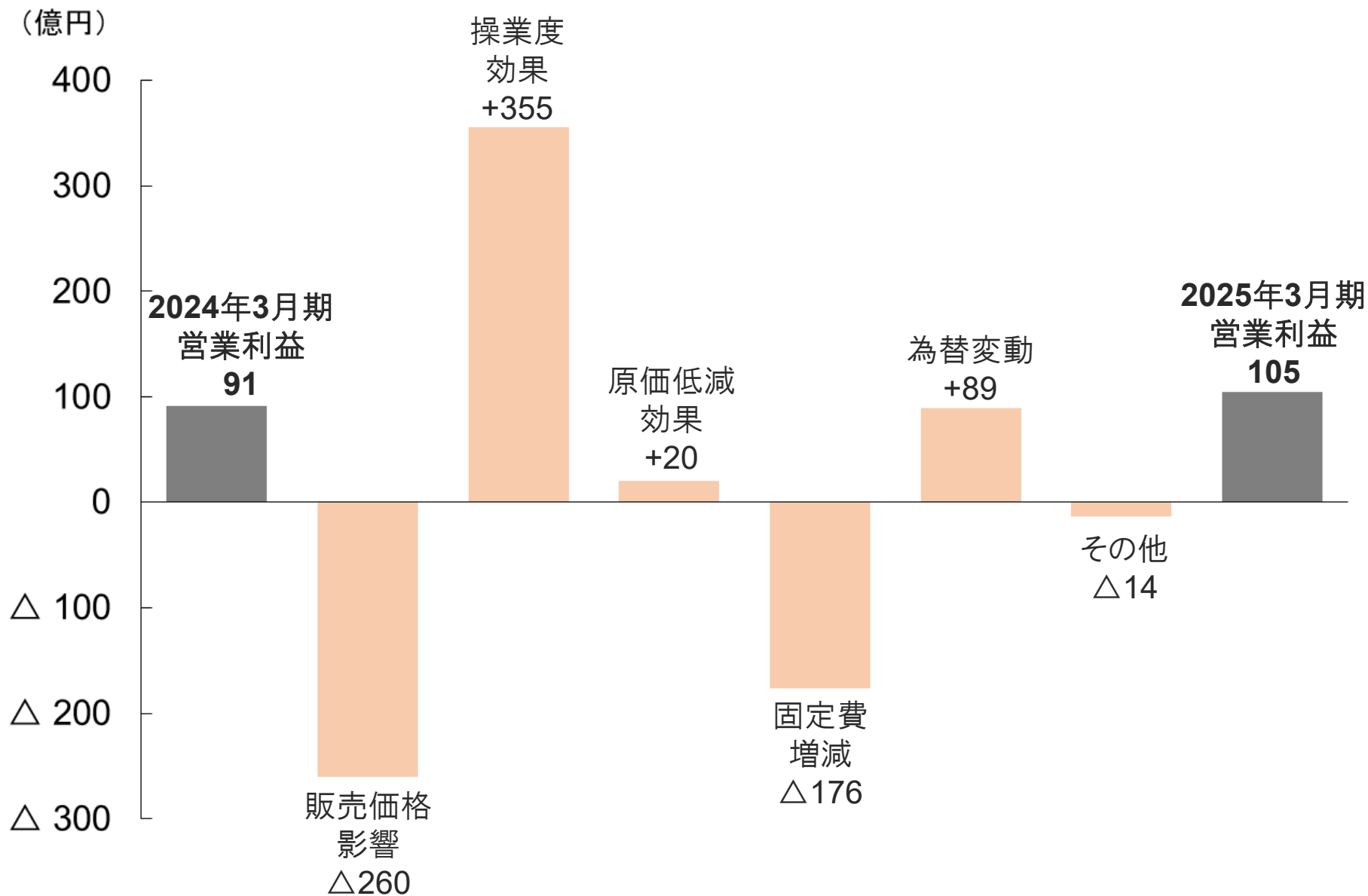
2025年3月期 連結業績概要

百万円	2024年3月期		2025年3月期		増減	
	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比
売上高	322,647	100.0%	341,438	100.0%	18,790	5.8%
営業利益	9,079	2.8%	10,459	3.1%	1,379	15.2%
経常利益	13,757	4.3%	10,517	3.1%	△3,240	△23.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,317	2.6%	2,328	0.7%	△5,989	△72.0%

対米ドル期中平均レート	143.32円	152.61円	9.29円円安
為替変動による影響額	売上高 +154億円、営業利益 +89億円 ※米ドル以外の通貨影響含む		

研究開発費	13,696	15,042	1,345	9.8%
設備投資額	92,201	64,158	△28,042	△30.4%
減価償却費	39,391	46,258	6,866	17.4%

2025年3月期 営業利益増減要因

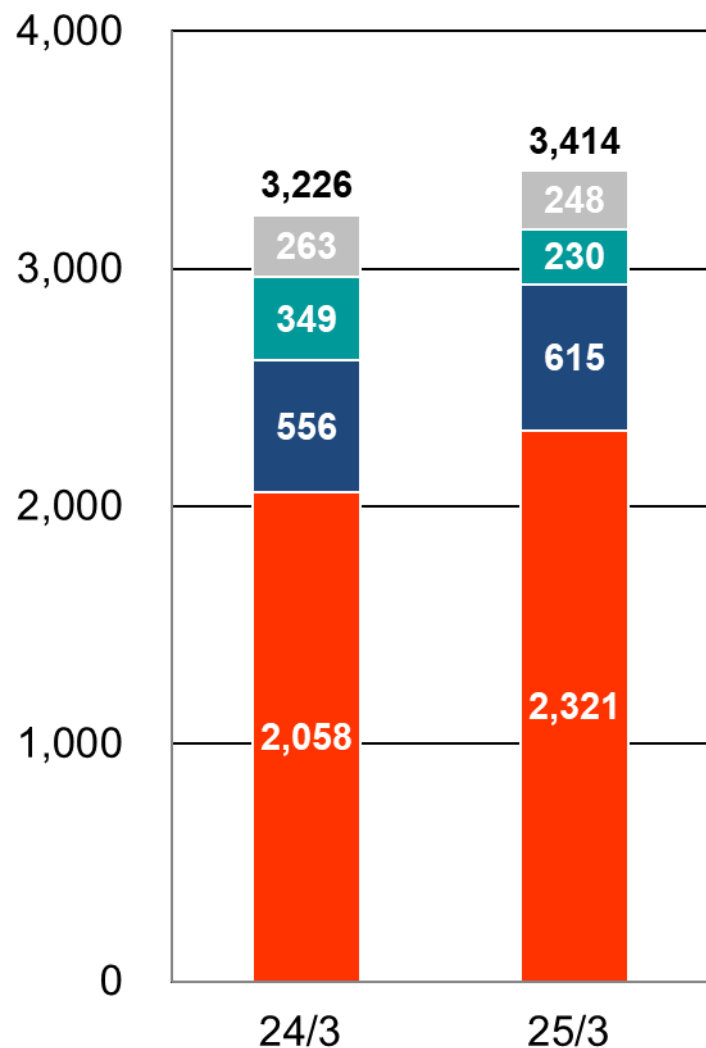


2025年3月期 製品別売上高

百万円	2024年3月期		2025年3月期		増減	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
コンデンサ	205,829	63.8%	232,066	68.0%	26,236	12.7%
インダクタ	55,566	17.2%	61,546	18.0%	5,979	10.8%
複合デバイス	34,934	10.8%	22,986	6.7%	△11,947	△34.2%
その他	26,317	8.2%	24,838	7.3%	△1,478	△5.6%
合計	322,647	100.0%	341,438	100.0%	18,790	5.8%

2025年3月期 製品別売上高

(億円)



■ **コンデンサ** (前期比+12.7%)
ノートPCやタブレット端末などの情報機器、自動車、サーバーなどの情報インフラ・産業機器向けなどが増加。

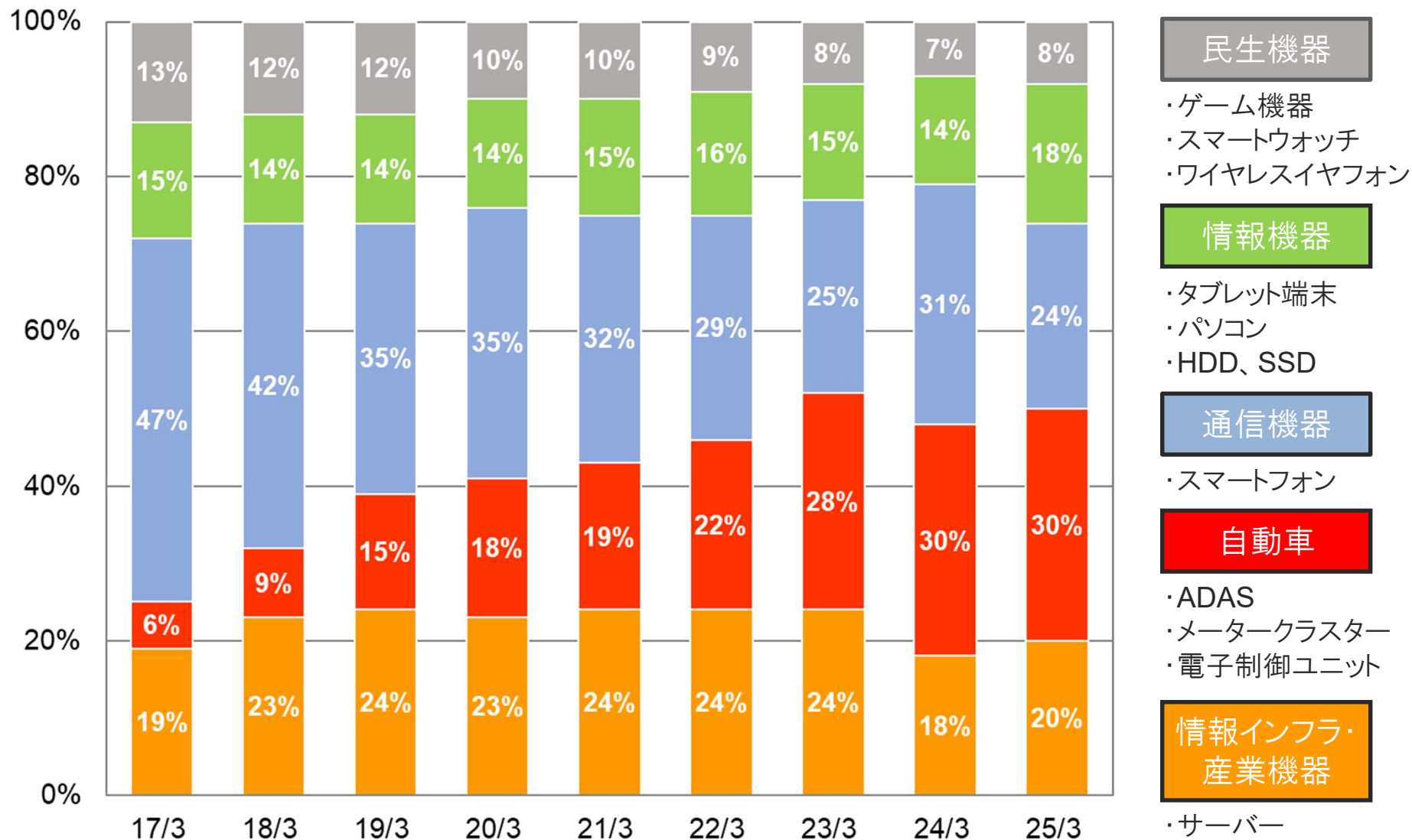
■ **インダクタ** (前期比+10.8%)
ゲームやワイヤレスイヤホンなどの民生機器、メモリモジュールなどの情報機器、情報インフラ・産業機器向けなどが増加。

■ **複合デバイス** (前期比△34.2%)
中国系スマートフォン向けの通信用デバイス (FBAR/SAW)、回路モジュールが減少。

■ **その他** (前期比△5.6%)
アルミニウム電解コンデンサが減少。

■ コンデンサ ■ インダクタ ■ 複合デバイス ■ その他

用途分野別売上構成



民生機器

- ・ゲーム機器
- ・スマートウォッチ
- ・ワイヤレスイヤホン

情報機器

- ・タブレット端末
- ・パソコン
- ・HDD、SSD

通信機器

- ・スマートフォン

自動車

- ・ADAS
- ・メータークラスター
- ・電子制御ユニット

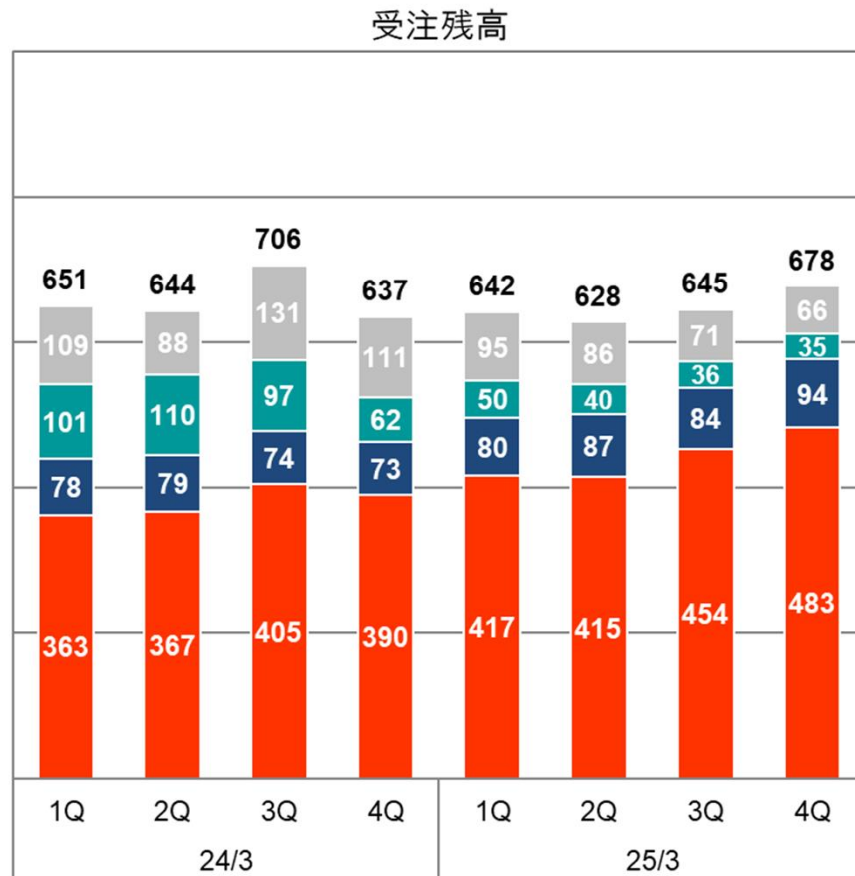
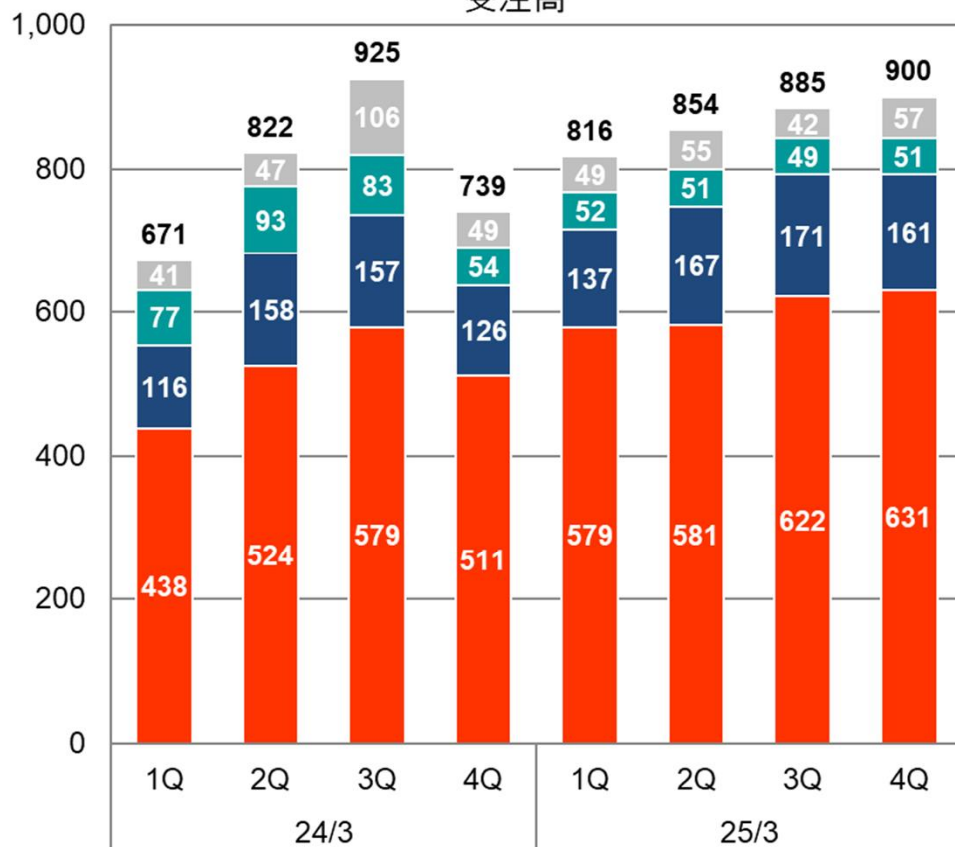
情報インフラ・産業機器

- ・サーバー
- ・基地局通信装置
- ・セキュリティカメラ

※当社推計値

受注高・受注残高

(億円)



BBLレシオ

	24/3				25/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
全社	0.92	0.99	1.07	0.91	1.01	0.98	1.02	1.04
コンデンサ	0.93	1.01	1.07	0.97	1.05	1.00	1.07	1.05

- コンデンサ
- インダクタ
- 複合デバイス
- その他

※BBLレシオ=受注高/売上高

**2026年3月期
連結業績予想**

2026年3月期 連結業績予想の前提

需要

AIサーバーや自動車向けを中心に、電子部品の需要拡大を見込む。これらの市場で必要とされるコンデンサの高信頼性品や大型形状品の能力増強を継続し、供給量を増やして対応。

売上

各国の関税措置による当社業績への直接的な影響は軽微であると想定。間接的な影響の見通しは不透明だが、最終製品への価格転嫁に伴う需要減をリスクとして想定。当社売上への影響を△90億円と試算し、業績予想に反映。

※当社の北米向け売上比率は6.5%(2025年3月期)

生産

今期末の全社棚卸資産は、前期末に対して約60億円増加する見込み。

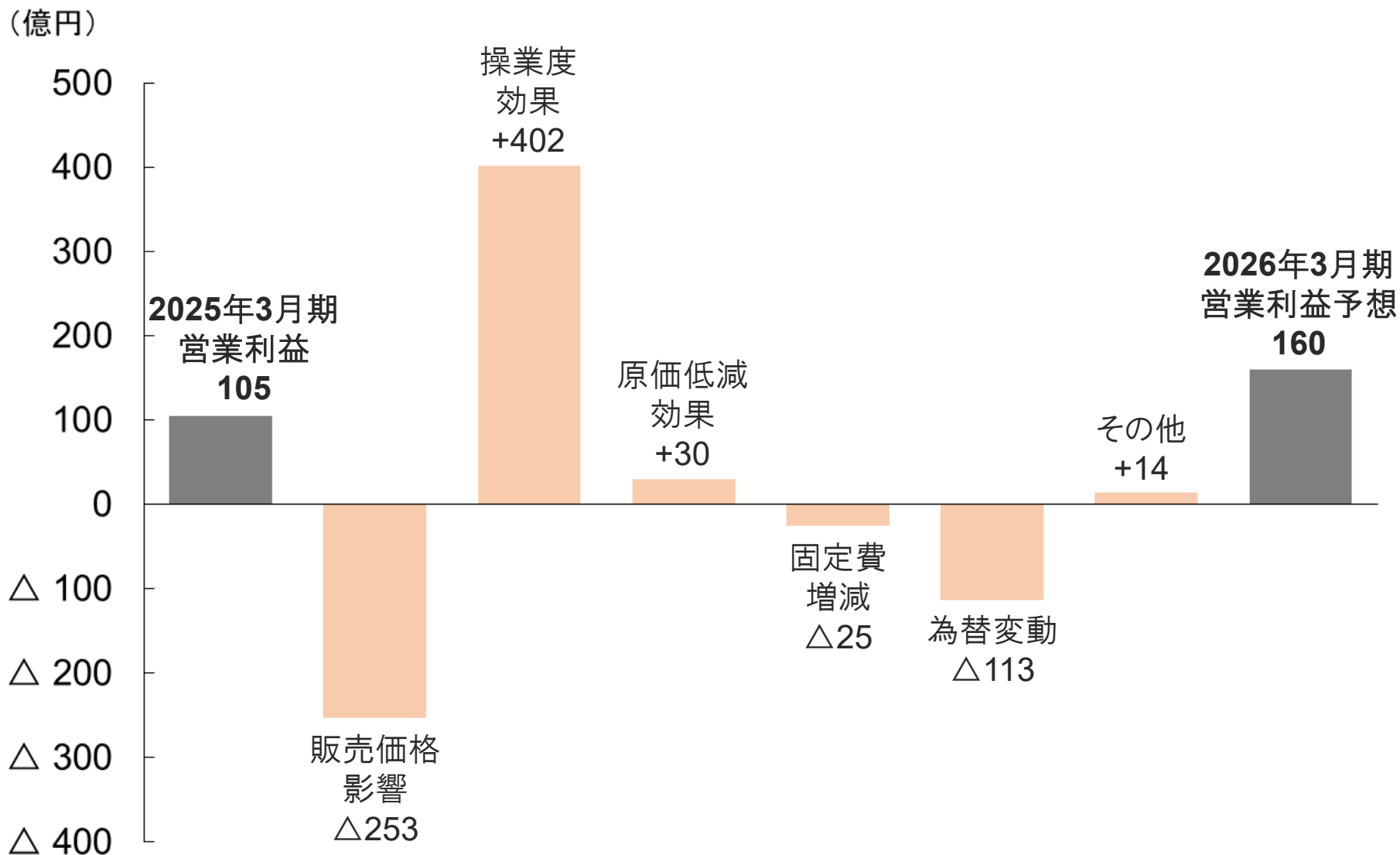
費用

通信用デバイスの構造改革などによる費用削減に取り組むが、固定費全体では減価償却費を中心に前期比増加の見込み。

2026年3月期 連結業績予想

百万円	2025年3月期		2026年3月期 予想		増減	
売上高	341,438	100.0%	340,000	100.0%	△1,438	△0.4%
営業利益	10,459	3.1%	16,000	4.7%	5,541	53.0%
経常利益	10,517	3.1%	15,000	4.4%	4,483	42.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,328	0.7%	8,000	2.4%	5,672	243.6%
対米ドル期中平均レート	152.61円		140.00円		12.61円円高	
研究開発費	15,042		15,500		458	3.0%
設備投資額	64,158		46,000		△18,158	△28.3%
減価償却費	46,258		48,000		1,742	3.8%

2026年3月期 営業利益予想増減要因



2026年3月期 製品別売上高予想

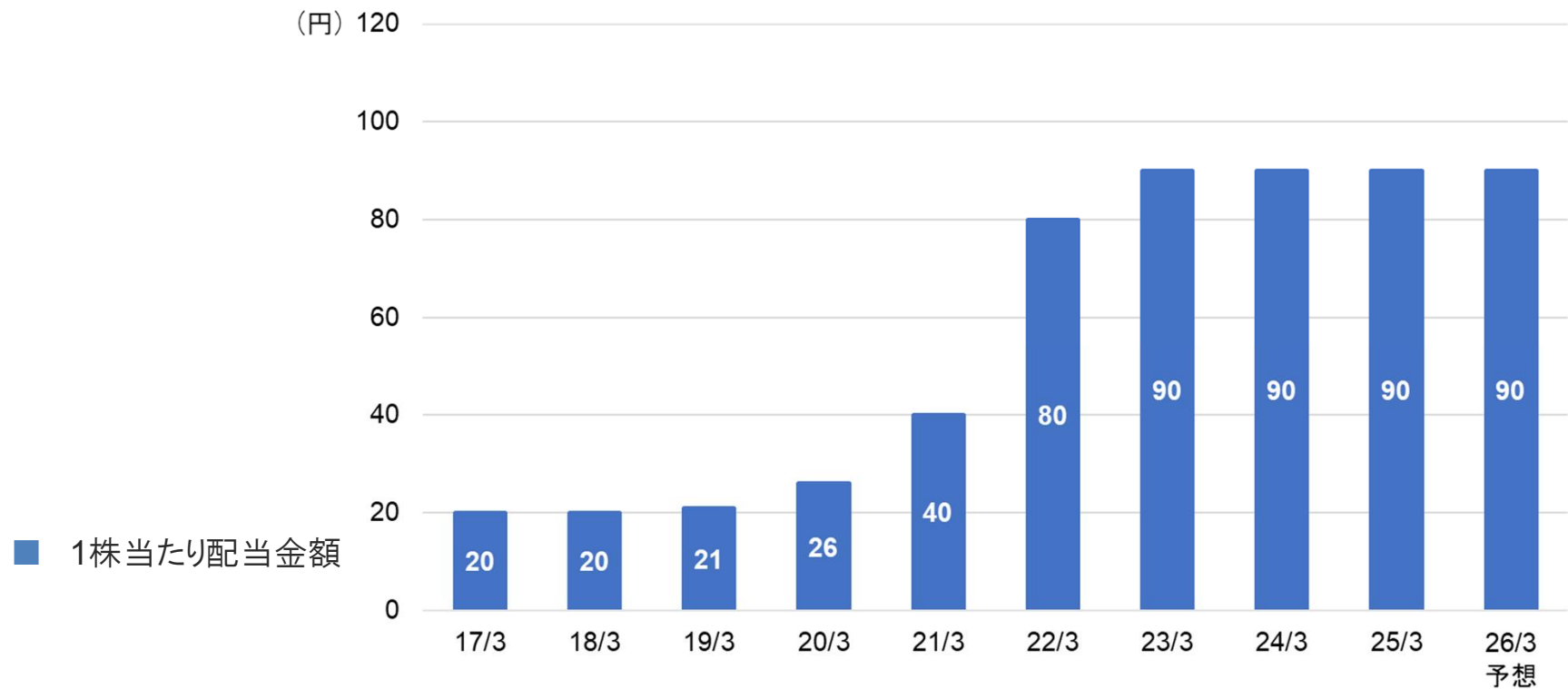
百万円	2025年3月期		2026年3月期 予想		増減		為替影響を 除いた増減
コンデンサ	232,066	68.0%	240,000	70.6%	7,934	3.4%	約11%
インダクタ	61,546	18.0%	60,000	17.6%	△1,546	△2.5%	約5%
複合デバイス	22,986	6.7%	16,000	4.7%	△6,986	△30.4%	約△27%
その他	24,838	7.3%	24,000	7.1%	△838	△3.4%	±0%
合計	341,438	100.0%	340,000	100.0%	△1,438	△0.4%	約7%
対米ドル 期中平均レート	152.61円		140.00円		12.61円円高		同水準

2026年3月期第1四半期 製品別売上高予想

百万円	2025年3月期 第4四半期	2026年3月期 第1四半期予想 (前四半期比増減)	為替影響を 除いた増減
コンデンサ	60,277	△3%～+1%	+5%～+9%
インダクタ	15,100	△14%～△10%	△5%～△1%
複合デバイス	5,137	△31%～△27%	△26%～△22%
その他	6,197	△9%～△5%	△5%～△1%
合計	86,713	△7%～△3%	±0%～+5%
対米ドル期中平均レート	154.11円	140.00円	同水準

株主還元

株主還元方針を見直し、従来の配当性向**30%**に加えて
株主資本配当率(DOE)**3.5%**を株主還元の指標として追加



配当性向(%)	43.4	14.4	11.1	18.2	17.5	18.5	48.3	134.8	482.1	140.3
株主資本配当率(DOE)(%)	1.5	1.4	1.3	1.6	2.1	3.3	3.5	3.4	3.5	3.5
総還元性向(%)	43.4	14.4	24.0	40.3	17.5	27.6	48.3	134.8	482.1	—
自己株式取得額(億円)	0	0	30	40	0	50	0	0	0	—

補足資料

2025年3月期第4四半期 連結業績概要

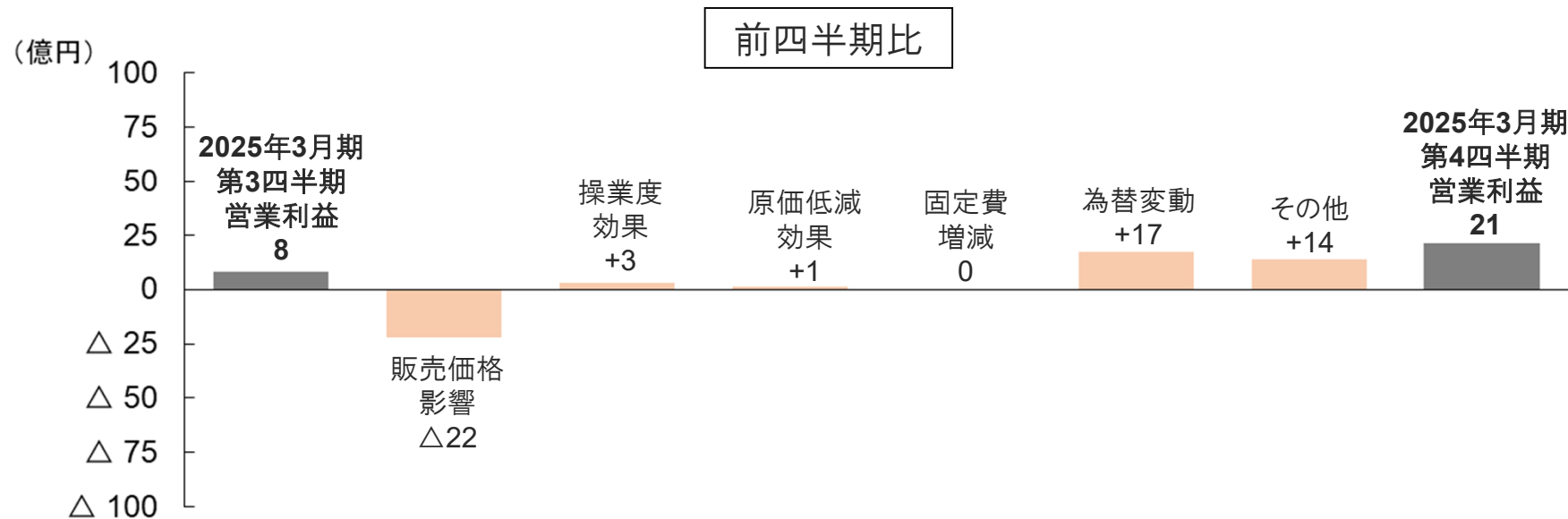
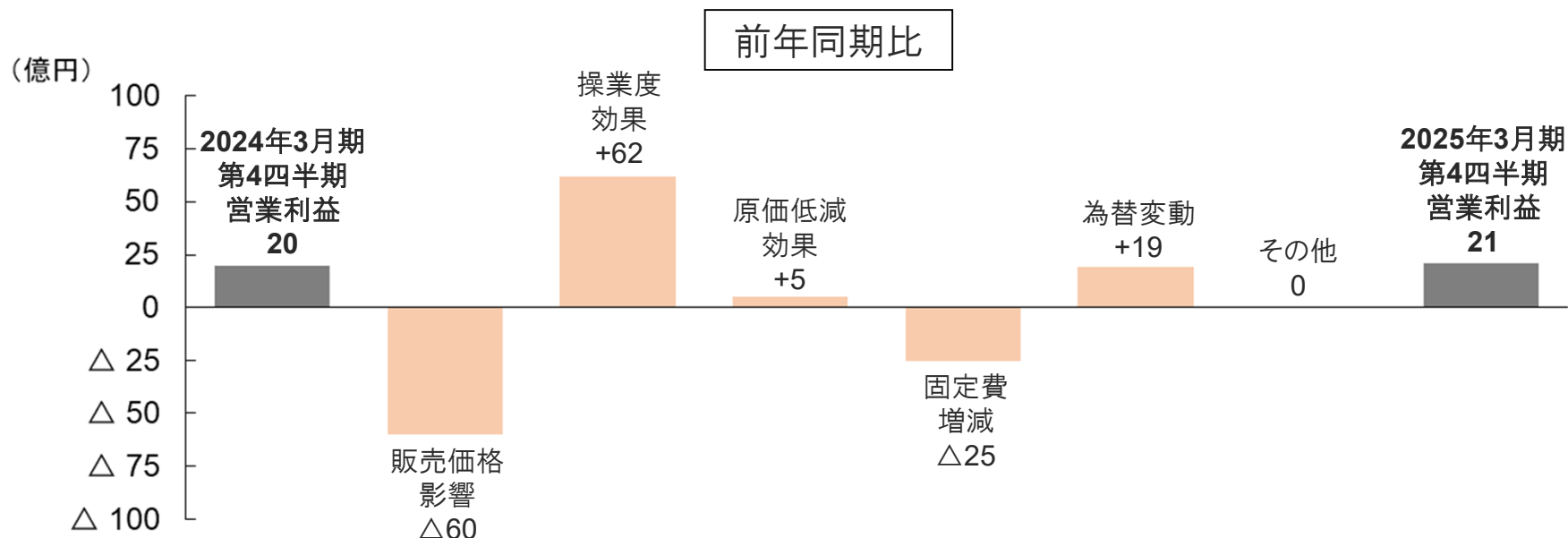
百万円	2024年3月期 第4四半期		2025年3月期 第3四半期		2025年3月期 第4四半期		増減			
							前年同期比		前四半期比	
売上高	80,834	100.0%	86,868	100.0%	86,713	100.0%	5,878	7.3%	△155	△0.2%
営業利益	2,036	2.5%	825	1.0%	2,057	2.4%	21	1.0%	1,231	149.1%
経常利益	6,301	7.8%	6,925	8.0%	△3,167	△3.7%	△9,469	—	△10,093	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,641	5.7%	4,598	5.3%	△5,837	△6.7%	△10,478	—	△10,436	—

対米ドル 期中平均レート	146.76円	149.04円	154.11円	7.35円円安	5.07円円安
-----------------	---------	---------	---------	---------	---------

為替変動による 影響額	前年同期比：売上高 +29億円、営業利益 +19億円 前四半期比：売上高 +19億円、営業利益 +17億円 ※米ドル以外の通貨影響含む				
----------------	--	--	--	--	--

研究開発費	3,726	3,775	3,938	211	5.7%	163	4.3%
設備投資額	24,008	16,329	17,747	△6,260	△26.1%	1,418	8.7%
減価償却費	10,899	11,899	12,432	1,533	14.1%	533	4.5%

2025年3月期第4四半期 営業利益増減要因



2025年3月期第4四半期 製品別売上高

百万円	2024年3月期 第4四半期		2025年3月期 第3四半期		2025年3月期 第4四半期		増減			
							前年同期比		前四半期比	
コンデンサ	52,554	65.0%	58,317	67.1%	60,277	69.5%	7,722	14.7%	1,959	3.4%
インダクタ	12,645	15.6%	17,471	20.1%	15,100	17.4%	2,454	19.4%	△2,371	△13.6%
複合デバイス	8,784	10.9%	5,363	6.2%	5,137	5.9%	△3,646	△41.5%	△226	△4.2%
その他	6,849	8.5%	5,714	6.6%	6,197	7.1%	△651	△9.5%	482	8.5%
合計	80,834	100.0%	86,868	100.0%	86,713	100.0%	5,878	7.3%	△155	△0.2%

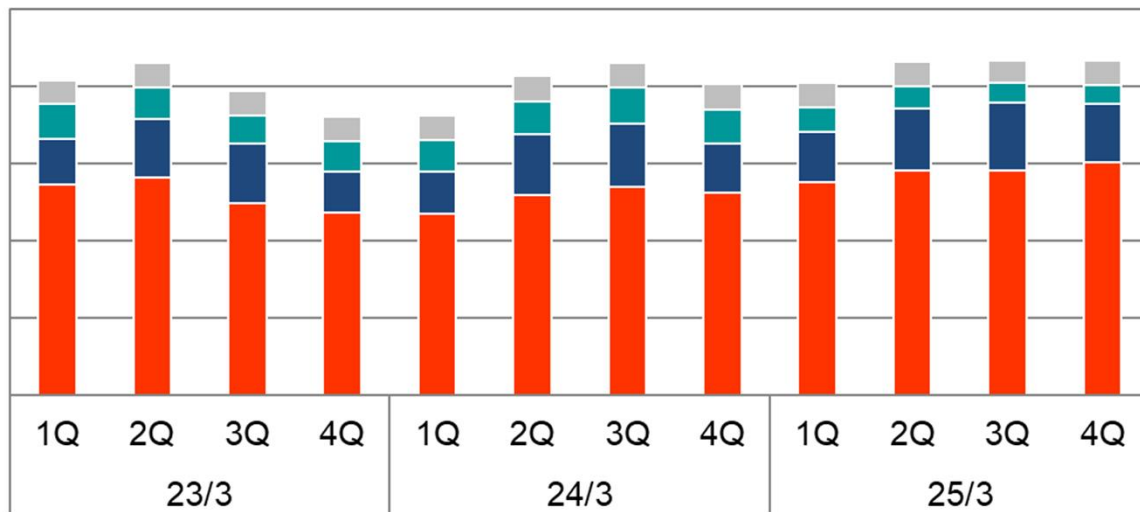
連結業績推移(四半期)

百万円	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	72,612	82,814	86,386	80,834	81,138	86,718	86,868	86,713
コンデンサ	47,133	51,950	54,190	52,554	55,192	58,278	58,317	60,277
インダクタ	10,976	15,748	16,196	12,645	13,011	15,963	17,471	15,100
複合デバイス	8,182	8,326	9,641	8,784	6,388	6,097	5,363	5,137
その他	6,320	6,789	6,358	6,849	6,546	6,379	5,714	6,197
営業利益	△577	2,721	4,900	2,036	2,630	4,945	825	2,057
経常利益	1,159	5,127	1,169	6,301	8,377	△1,617	6,925	△3,167
親会社株主に 帰属する四半期純利益	903	2,497	276	4,641	6,309	△2,741	4,598	△5,837
対米ドル期中平均レート	134.93円	142.47円	149.10円	146.76円	153.15円	154.14円	149.04円	154.11円

連結業績推移(四半期)

(億円)

1,000



売上高

■ その他

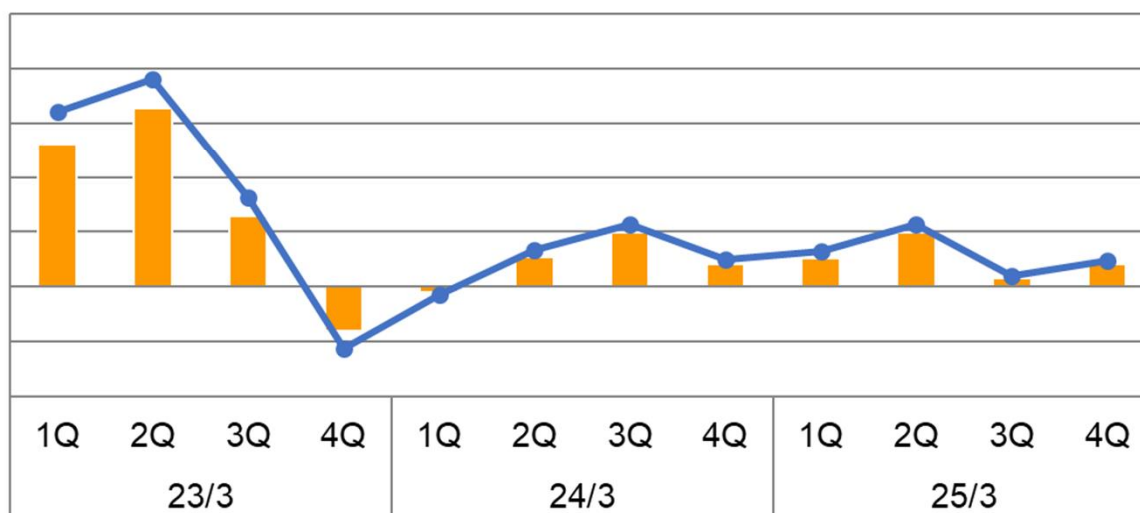
■ 複合デバイス

■ インダクタ

■ コンデンサ

(億円)

250



25%

20%

15%

10%

5%

0%

△5%

△10%

■ 営業利益

● 営業利益率

△ 50

△ 100

連結財政状態

百万円	2024年3月末	2025年3月末	増減
現金及び預金	102,783	78,166	△24,616
資産合計	579,686	573,188	△6,497
有利子負債	148,845	164,401	15,556
負債合計	249,587	254,017	4,430
純資産合計	330,098	319,171	△10,927

自己資本比率	56.8%	55.6%	—
ネットキャッシュ	△46,062	△86,235	△40,172
D/Eレシオ	0.45	0.52	—

当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN